

# 学術と連携した環境教育の質的確保に向けて

## 開催趣旨

環境教育には、「知の全体性」を培うことが重要である。環境について包括的に学ぶために、学校教育における課題や、体験がもつ意義について検討し、教員の働き方や学習機会の確保もふまえながら、環境教育の質を確保するための学術や社会との連携も模索する。

**日時** 2023年5月13日(土) 13:00~17:30

**開会挨拶** 馬奈木俊介 (日本学術会議第一部会員、九州大学大学院工学研究院教授)

**趣旨説明** 関 礼子 (連携会員、立教大学社会学部教授)

## 第1部 まるごとの環境を学ぶ—「知の全体性」をはぐくむために

**司会** 豊田光世 (連携会員、新潟大学佐渡自然共生科学センター准教授)

**センス・オブ・ワンダー：自然との出会いと知の始まり**

河野 哲也 (連携会員、立教大学文学部教授)

**環境教育と文化多様性：サステナビリティ、共生と仏教**

野田 真里 (茨城大学人文社会科学部教授)

**学校における環境教育の推進と展開**

日置 光久 (連携会員、希望が丘学園・学園統括顧問)

**土壌・環境教育システムの構築と実践：国内外の学会活動から国際ガイドライン設定へ**

小崎 隆 (連携会員、愛知大学名誉教授)

2023年5月13日(土)  
13:00~17:30  
オンライン開催

## 第2部 環境を感受する身体—「体験」の位置づけと課題

**司会** 工藤由貴子 (連携会員、和洋女子大学総合研究機構)

**子どもの自然体験の意義と課題：全国調査の結果から**

青山 鉄兵 (国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター・文教大学人間科学部准教授)

**リスク社会に対応する身体と自然体験の関係**

奇二 正彦 (立教大学スポーツウエルネス学部准教授)

**学校教育と社会教育の連携：その壁と可能性**

北見 靖直 (国立青少年教育振興機構国立立山青少年自然の家・能登青少年交流の家所長)

**実技教科にみる実際の体験を通じた学び：専門高校の農業教育・森林教育を中心に**

井上真理子 (連携会員、(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所多摩森林科学園グループ長)

**野外教育実践(キャンプ)では何が学ばれるのか：体験をめぐる理論と実践の往還と今日的課題**

土方 圭 (明治大学法学部准教授)

**環境教育の充実に向けた課題の整理**：関 礼子

**閉会挨拶** 氷見山幸夫 (連携会員、北海道教育大学名誉教授)

**申込** 事前に申し込み下さい(先着500名)。申込締切：5月6日(土)

[https://rikkyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_oejoOsqARL69Qpz0QXfVig](https://rikkyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_oejoOsqARL69Qpz0QXfVig)

